

# 渋谷ストリーム

過去と未来、建築と土木、クロスオーバーする都市開発の新しい流れ



再生された渋谷川と渋谷川上部の2つの広場と連続する遊歩道

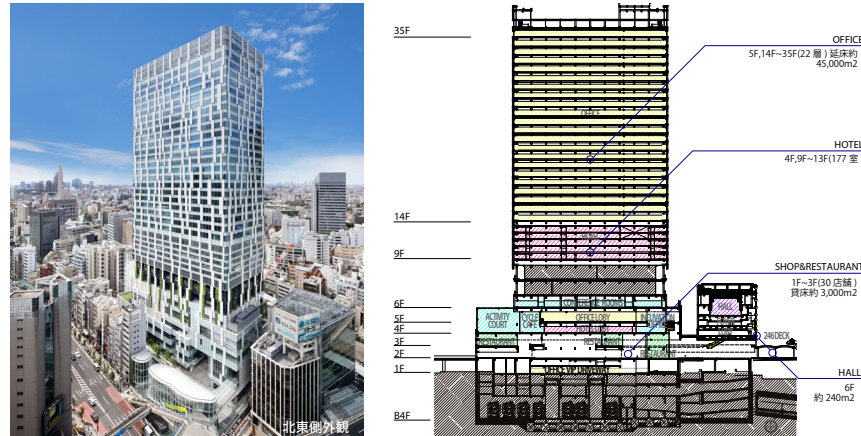
## 01. 計画概要

旧東急東横線渋谷駅跡地及び周辺敷地を活用した大規模複合施設の開発プロジェクト。タワー高層部のオフィス、中層部のホテル、低層部の商業ゾーン、ホール、地下2階から地上2階までを接続するアーバン・コア等により構成されている。地形の高低差や道路・鉄道により分断されていた渋谷駅側エリアに歩行者ネットワークを整備して新たな人の流れを作ること、官民連携で渋谷川を再生・整備し魅力的な都市環境をつくり、クリエイティブワーカーに選ばれるビジネス環境を整備し新たな次代の流れを生み出すことがテーマである。

谷地形に対して、複雑に交錯する様々なアクティビティ、多様なスピード感が交錯する真つただちのダイナミズムと、ここに流れる風・渋谷川の音など、この場所でき感じられない心地良さをつくり出すことを目指した。

The site is the ruins of Tokyu Toyoko Line Shibuya Station. It is a place where the first and last stations of Toyoko Line were located. The memories of many people are engraved with beautiful curving trajectories, homes, and views of the barrel roof.

Inheriting memories that you are familiar with on a daily basis, and taking advantage of the potential of this place to the future. To amplify the attractiveness of Shibuya's neighborhood and streets. To become familiar with office workers who will come with bicycles and sneakers. You can feel the dynamism in the midst of various activities such as expressways, Meiji Dori, Shibuya River, JR lines, footbridges, etc. in the middle of the valley topography site, and the wind itself flowing in the middle of it.

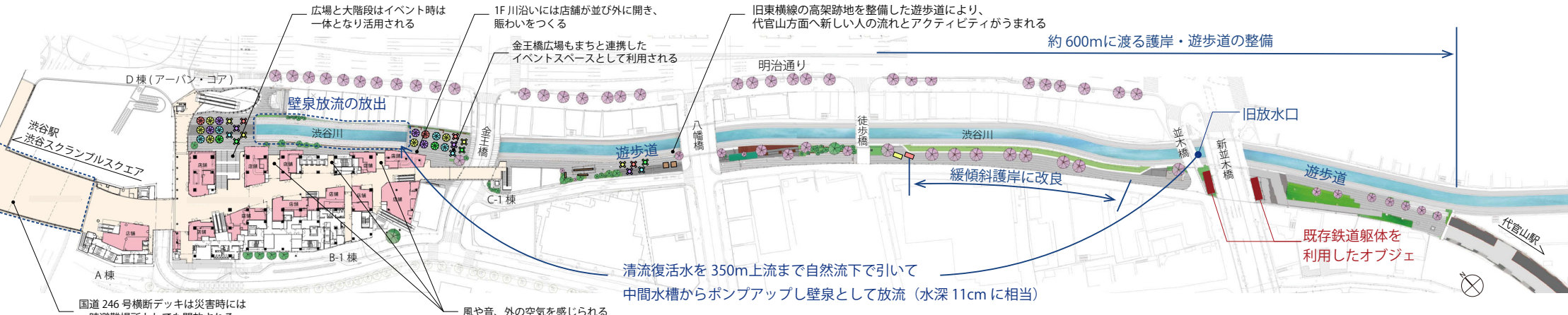
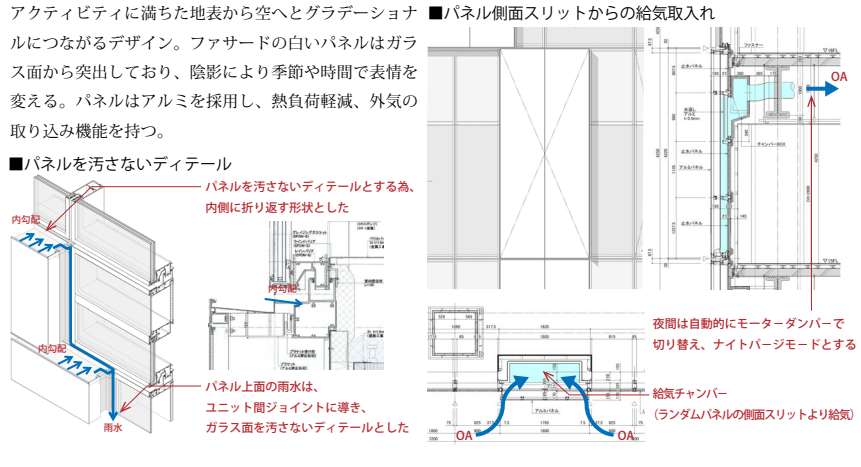


## 02. 新たな人の流れとアクティビティの創出

渋谷から代官山方面へ全長約600mにわたり、官民連携で渋谷川を再生・整備し、魅力的な都市環境をつくりだした。渋谷川は清流復活水を350m上流まで自然流下で引き、中間水槽からポンプアップし壁泉として放流し、都市河川の再生に寄与した。川沿いを遊歩道として整備し、一部緩傾斜護岸に改良し緑化する等、水と緑のネットワークを形成した。

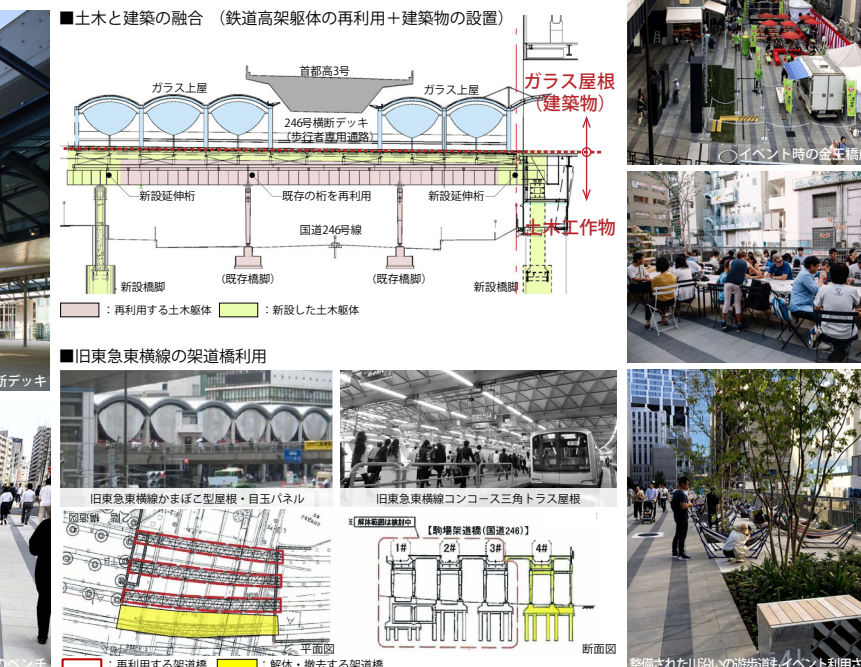


## 03. ファサードデザイン



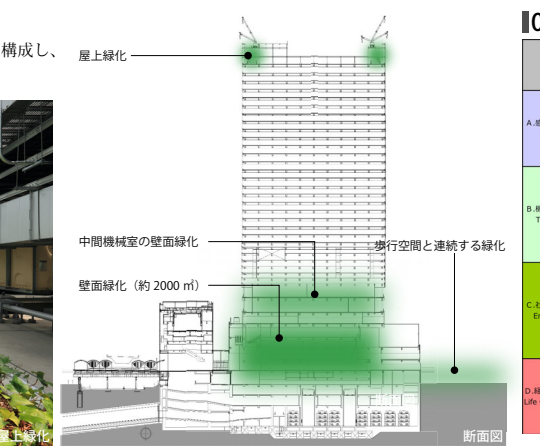
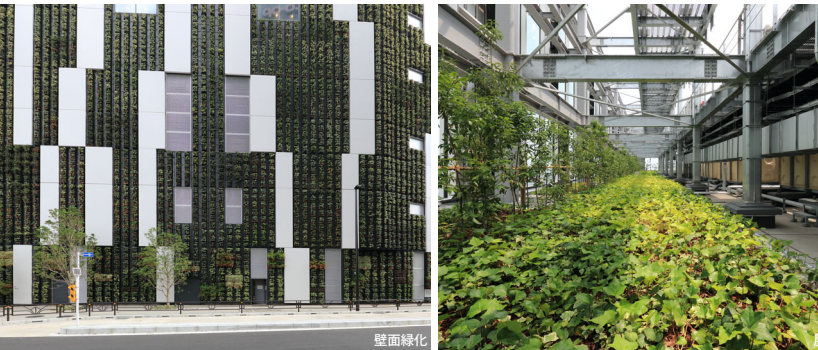
## 04. 記憶の継承

旧東急東横線の始発・終着駅であった場所であり、美しいカーブを描く軌道とホーム、そして、かまぼこ屋根の大きな風景が多くの人びとの記憶に刻まれている。国道246号線上部を渡る旧高架橋の一部をそのまま再利用し横断デッキ上部にかまぼこ屋根を再現した。線路線を踏襲したポーラスな半外部の貫通通路「ストリーム・ライン」には、渋谷のスケールにブレイクダウンした路面店のよう店舗が並び、線路線を踏襲するだけでなく線路の敷設や、遊歩道内に旧東急東横線高架柱を再利用したオブジェやベンチを設け、鉄道の記憶と共に憩いの場を地域に生み出している。



## 05. 立体的な緑化構成

西面に約2000㎡の大規模な壁面緑化を設けている。また屋上緑化や中間機械室の緑化により立体的な緑化を構成し、遊歩道に連続する緑化を設け、建物とランドスケープが調和された、緑のネットワークを形成している。



## 06. 設備・環境設計の評価

